

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	花ノ木児童発達支援センター 保育所等訪問支援事業			
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和7年1月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和7年1月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和7年1月11日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2件	(回答数)	2件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理師・作業療法士などが訪問員として登録している点。	児発管・相談員と連携し、園での過ごしをサポートするため、園で対応する先生方のニーズや思いに寄り添う形で支援を提供している。	利用者と園のニーズに合わせて、園が利用者に適切なサポートができるように、具体的な教材等を用いて助言・支援ができるようにする。
2	通所の児童発達支援事業を行う中で、地域の園の状況がある程度把握できている点と長年の連携を通して園との関係性が構築されている点。	園の窓口担当と定期的に連絡をとってニーズをくみ取り、保護者への訪問の報告を通じて園と保護者をつなぐ役割を担えるようにしている。園の状況を考え、それぞれの園の事情に即して、園と保護者のニーズを満たせるように助言をしている。	通園事業だけでなく、園での過ごしへのサポートを通して地域の課題がある児童の支援を広げていくため、保育所等訪問支援事業の充実を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業内容や支援内容についての発信や情報共有のツールが少なく、保護者にリアルタイムで伝えることができていない。	事業者の通信手段にアナログが多く、SNSやアプリ等を活用した発信手段が導入できていない。	訪問に関わる情報や支援内容について、保護者がアクセスしやすい方法を検討し、導入を図る。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		花ノ木児童発達支援センター（保育所等訪問支援事業）				公表日	2025年3月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
・ 環 体 境 制 ・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
保護者等への説明等	26 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	27 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	28 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	29 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	30 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	31 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	32 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2		現在は、ケースごとの個別的な説明のみで終わっているため、おたよりやHP等を活用しながら情報共有できるように検討していきます。
	33 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
34 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				
訪問先施設への説明等	35 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	36 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	37 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	38 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	39 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
非常時等の 対応	40 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	41 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	42 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	43 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			